

▲ 使用上の注意

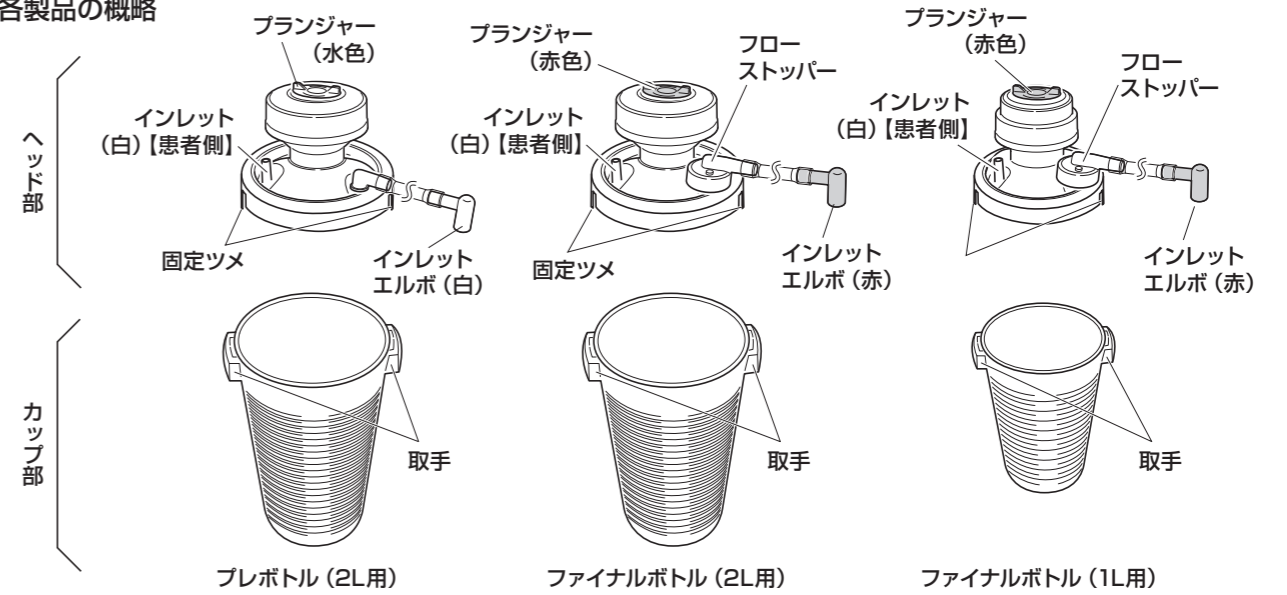
1. 本製品は専門の教育を受けた者のみが使用すること。
2. 本製品を使用する前には、必ず表示事項及び取扱説明書を熟読し、その内容を熟知すること。
3. 本製品を使用目的以外の用途には使用しないこと。
4. 医療ガス配管設備 JIS T 7101 に規定する吸引供給装置以外には接続しないこと [陽圧やその他の配管に接続すると患者、使用者及び装置に損傷を与える、又は性能が変化する可能性がある]。
5. 使用する流量及び圧力に関しては、術法、対象部位、大きさ、患者の体格と年齢、使用者の経験及び技法を勘案して行うこと。
6. レギュレータ及び貯溜容器並びに先端具等は、使用前に磨耗や亀裂がないか、又は著しい劣化がないか点検すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
7. 使用前にレギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。レギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等を再セットアップした場合も同様に、正常に作動することを確認すること。
8. 使用中に異常を感じた時は、使用を中止すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
9. アルコール等の有機溶媒を吸引しないこと [フローストップバーからの排液漏れや、凝固不良の原因になる]。
10. 過貯溜防止装置 (フローストップバー) が作動するまで吸引しないこと。
11. 過貯溜防止装置 (フローストップバー) が作動して吸引が停止した場合、そのまま放置せず速やかに医療配管設備の供給状態を停止し、貯溜容器を交換すること [ボトル又はバッグに高い圧力が負荷され破損の恐れがある]。
12. 使用後はインレットエルボをインレットに確実に接続し、貯溜容器を密閉すること。
13. レギュレータの操作において無理な力を掛けないこと。
14. 吸引圧力の調整に際しては患者側に吸引圧がかからないように吸引チューブを閉塞し、開閉バルブを「OPEN」側にしてから、圧力調整ノブを回して吸引圧を調整すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
吸引圧を調整する際、圧力調整ノブの回転ロックを外すこと。
15. 使用中に圧力調整ノブに接触した場合は使用を一旦中止し、吸引圧を再設定の上、使用する。
※レギュレータ RG-200 の場合
レギュレータの圧力調整ノブの誤回転防止のため、吸引圧力の調整時以外は圧力調整ノブに回転ロックをかけておくこと。
16. レギュレータの異常、吸引力の低下、誤吸引においてレギュレータを汚損した場合又はレギュレータに落下などによる衝撃を与えた場合には直ちに使用を中止し、弊社担当者まで連絡すること。
17. 使用後、持ち運ぶ際にはバッグ、ボトル本体を持つこと [チューブ等を持って運ぶと接続部が外れ容器内の排液が飛散する恐れがある]。
18. 使用後は院内の「廃棄物処理規定」に従って処理すること。
19. 使用後に排液を排出する場合 (排出型のみ) は、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用すること [排液が飛散する恐れがある]。
20. 本製品を採血用吸引器として、絶対に使用しないこと。

21. 一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、ふたまた等の同時使用は絶対に避けること。
22. 吸引チューブは直接患者に適用せず、必ず先端に適切な先端具を接続して使用すること。
23. レギュレータ及び貯溜容器を取り替える場合、必ず医療配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
24. 本製品を設置するときには、次の事項に注意すること。
イ. 水のかからない場所に設置すること。
ロ. 温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
ハ. 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など安定状態に注意すること。
ニ. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
25. 本製品を使用する前に次の事項に注意すること。
イ. レギュレータ及び貯溜容器並びに各チューブや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態等の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 凝固剤及び過貯溜防止装置 (フローストップバー) の水漏れに注意すること。
26. 本製品の使用後は次の事項に注意すること。
イ. 定められた手順により、開閉バルブ、圧力調整ノブ等を使用前の状態に戻した後、医療ガス配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 塩素系殺菌剤は注入しないこと [凝固を妨げる恐れがある]。
27. 本製品が故障したときは、修理専門業者若しくは弊社に依頼すること [不完全な修理は正常な機能や安全の保障ができないため]。
28. 消耗品は弊社純正品を使用すること [不完全な部品の交換は正常な機能や安全の保障ができないため]。
29. 本製品の分解・改造は絶対に行わないこと [正常に作動しなくなる恐れがある]。
30. キャニスターやレギュレータはアルコール等の有機溶媒で清拭しないこと。
31. 本製品は室温で使用すること。
32. レギュレータの真空計には衝撃を加えないこと [ガラス面が破損する恐れがある]。
33. ボトルタイプの排出型 (微量ボトル) はファイナルボトルとしての使用はしないこと。
34. 貯溜バッグ、貯溜容器を取り出す際は、レギュレータの突出部等に引掛けて落とさないように注意すること。
35. レギュレータの目盛は正面から読み取ること。
36. 万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローストップバー) を装着すること。吸引が弱くなった場合、配管保護装置を交換すること。
37. レギュレータを専用架台に取り付ける際は、スパナ 2 本を使用して固定すること。
38. 貯溜バッグ及び貯溜ボトルの EOG 滅菌やオートクレーブ及びウォッシャー・ステライザーによる熱湯消毒等は避けること。
39. キャニスター又はチューブ類を滅菌する場合は、EOG 滅菌 (温度 50℃ 以下、湿度 75% RH 以下) 以外は行わないこと。
40. 貯溜バッグは弱い材質でできているので、開封時の刃物による破損に注意すること。
41. 貯溜容器に横から衝撃を与えないこと。

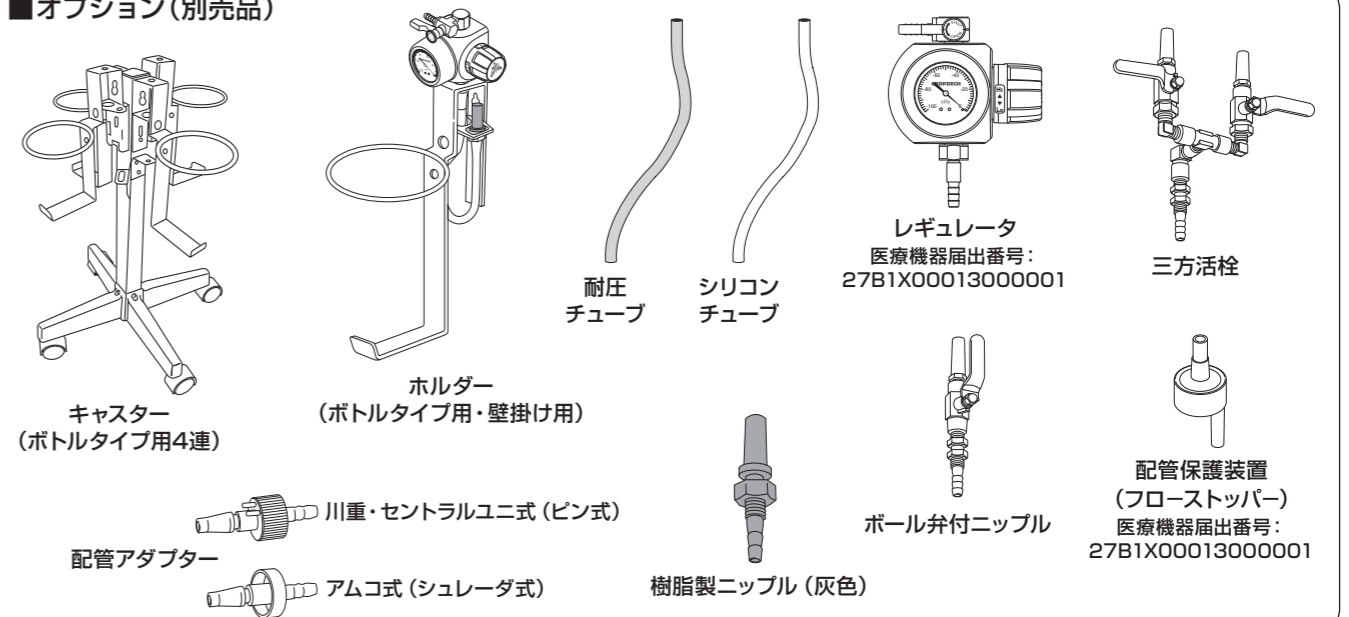
フィットフィックス® ボトルタイプ 取扱説明書

この度は、フィットフィックスボトルタイプをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品をご使用の際は、必ずこの取扱説明書をお読み頂き、
お取り扱いいただきますようお願い致します。

■各製品の概略



■オプション (別売品)



1 ボトルの組立及び連結手順

1. ボトルを用意します。

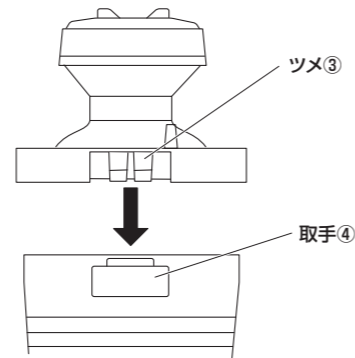
- ① 4連結で吸引する場合
プレボトル①を3本、ファイナルボトル②を1本ご用意ください。
- ② 2連結で2方向から吸引する場合（三方活栓を使用する場合）
プレボトル①を2本、ファイナルボトル②を2本ご用意ください。
- ③ホルダー（ボトルタイプ用・壁掛けタイプ）を使用する場合
ファイナルボトル②を1本ご用意ください。

注意

- 予想排水量よりも多めにご用意ください。

2. ボトルを組み立てます。

図のようにヘッド部のツメ③をカップ部の取手④に合わせ、全周をしっかりと手のひらで押し込み、確実にセットしてください。（ツメでロックされます。）



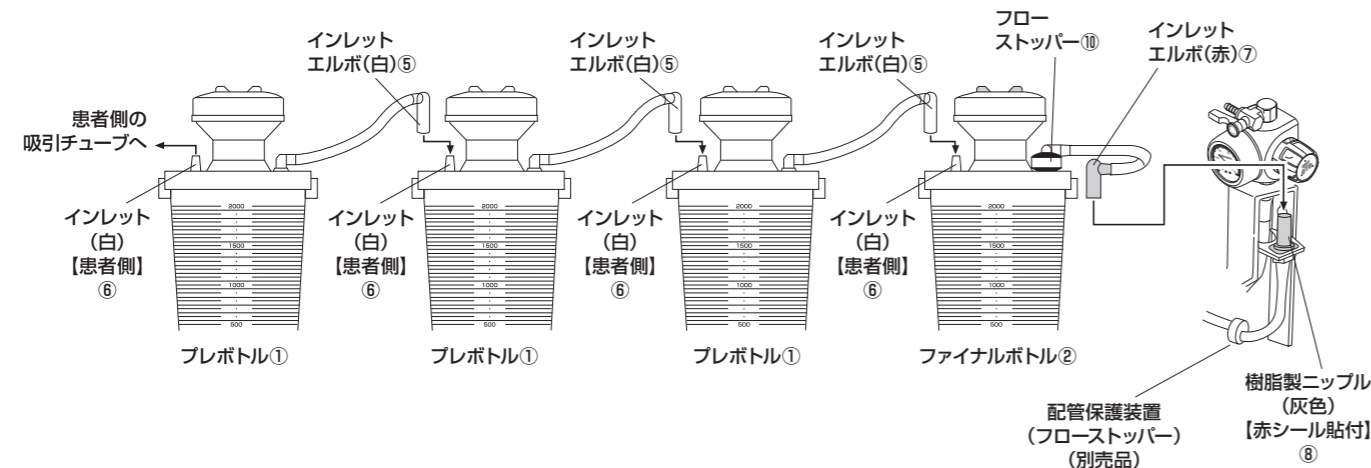
注意

- 組立が完全でないと、吸引漏れをおこす原因となります。

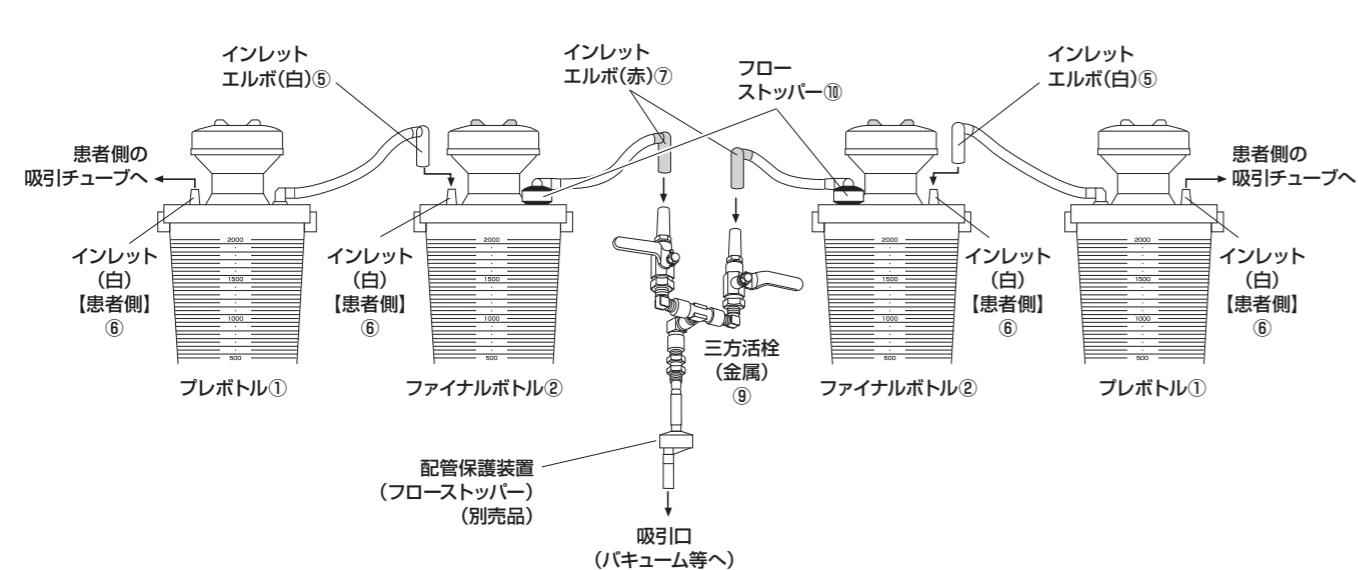
3. ボトルを連結します。

ボトル間を図のように、プレボトル①に付属しているインレットエルボ（白）⑤をインレット（白）【患者側】⑥に接続して連結してください。ファイナルボトル②のインレットエルボ（赤）⑦は樹脂製ニップル（灰色）【赤シール貼付】⑧又は三方活栓（金属）⑨に接続してください。

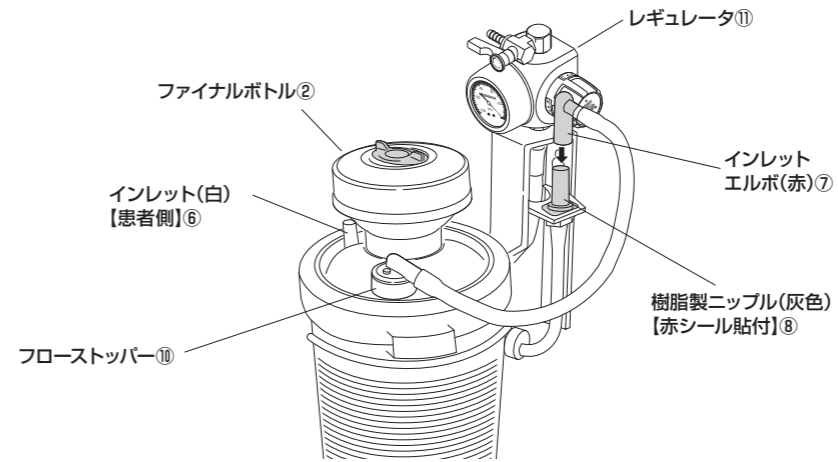
① 4連結で吸引する場合



② 2連結で2方向から吸引する場合（三方活栓を使用する場合）



③ホルダー（ボトルタイプ用・壁掛けタイプ）を使用する場合



4. 患者側の吸引チューブを接続します。
最後に残ったインレット（白）【患者側】⑥に患者側の吸引チューブを接続してください。

注意

- 患者側の吸引チューブを直接樹脂製ニップル（灰色）【赤シール貼付】⑧又は三方活栓（金属）⑨に差し込まないでください。誤接続によるレギュレータ⑪の汚損や吸引配管の詰まりの原因となります。

5. 吸引を行います。
ボトルの連結を確認の上、吸引を行ってください。

注意

- アルコール等の有機溶媒を吸引しないでください。フロー ストッパー⑩からの排水漏れや、凝固不良の原因となります。
- 凝固剤が内蔵されているヘッド部を回したり、取り外したりしないでください。

2 吸引が終わったら

1. 吸引源をOFFにし、各々のインレットエルボ⑤⑦をインレット（白）【患者側】⑥に接続して内部を密閉してください。
2. ブラシ⑫を90°回転させて下まで押し込んでください。凝固剤が投入されます。（ほとんどの排水は約1時間で凝固します。）

注意

- チューブが外れ、ボトル内の排水が飛散する恐れがありますので、チューブを持ちながらボトルタイプを取り外したり、持ち運んだりすることは避けてください。

3. ボトルタイプを焼却処理します。
この商品はすべて焼却できます。

